

日経アジア 300 指数の特徴

日経アジア 300 指数は日本経済新聞社が選んだアジアの 300 社以上の有力上場企業群「Asia300」をベースに算出する株価指数です。指数を通じ、中国・香港、韓国、台湾、インド、東南アジア 6 カ国の有力企業の株価動向を全体として把握する狙いがあります。

■ 指数の種類

日経アジア 300 指数のほか ASEAN 地域に属する企業を対象にした「日経アジア 300ASEAN 指数」をリアルタイムで算出します。11 カ国・地域ごとの指数は日々の終値を算出し、日経アジア 300 指数の動きをより細かく分析する際に活用できます。それぞれの国・地域は当該企業の実質的な本拠地がある場所に設定しています。

■ 算出日時

日経アジア 300 指数は日本国内の祝祭日に関係なく、1 月 1 日を除く月曜日から金曜日、韓国の株式市場が開く午前 9 時（日本時間）からインド株式市場が終了する午後 7 時 20 分（同）まで算出します。日経アジア 300 指数と日経アジア 300ASEAN 指数は、対象とする全市場が休場となる場合は算出しません。国・地域ごとの指数はそれぞれの休日を除いた日に算出します。

■ 銘柄の選定

「Asia300」の選定企業 327 社（12 月 1 日時点）のうち、米国市場だけに上場しているアリババ集団、百度（バイドゥ）、京東集団（JDドットコム）の中国企業 3 社を除いた 324 社（同）が指数の算出対象銘柄となります。上場廃止になった銘柄は対象から速やかに除外するほか、毎年 12 月をメドに「Asia300」の選定企業の変更にあわせて定期的に銘柄を見直します。

■ 指数の計算

資産価値の変動を表す時価総額加重方式で計算します。株式数は同方式では一般的な、市場に流通する「浮動株」を対象にします。各銘柄の株式は取引される通貨が異なるので、いったんドルに換算して全体の指数を算出します。国・地域ごとの指数は現地通貨ベースでも算出します。いずれの指数も 2015 年 12 月 1 日を 1000 とします。算出業務はシンガポール取引所（SGX）に委託します。

■その他

日経アジア 300 指数とすべての関連指数は日経電子版および日経指数の公式サイト「[日経平均プロフィール](#)」、日本経済新聞社グループの金融情報サービス会社 QUICK の端末に掲載します。他の有力情報提供会社からも順次配信する予定です。日経アジア 300 指数は主に報道に活用するための株価指数です。日本経済新聞社は日経アジア 300 指数をベースに、2017 年には上場投資信託（ETF）などの金融商品での利用を想定した新たな指数の開発に着手します。

日本経済新聞社 インデックス事業室
indexes.nikkei.co.jp